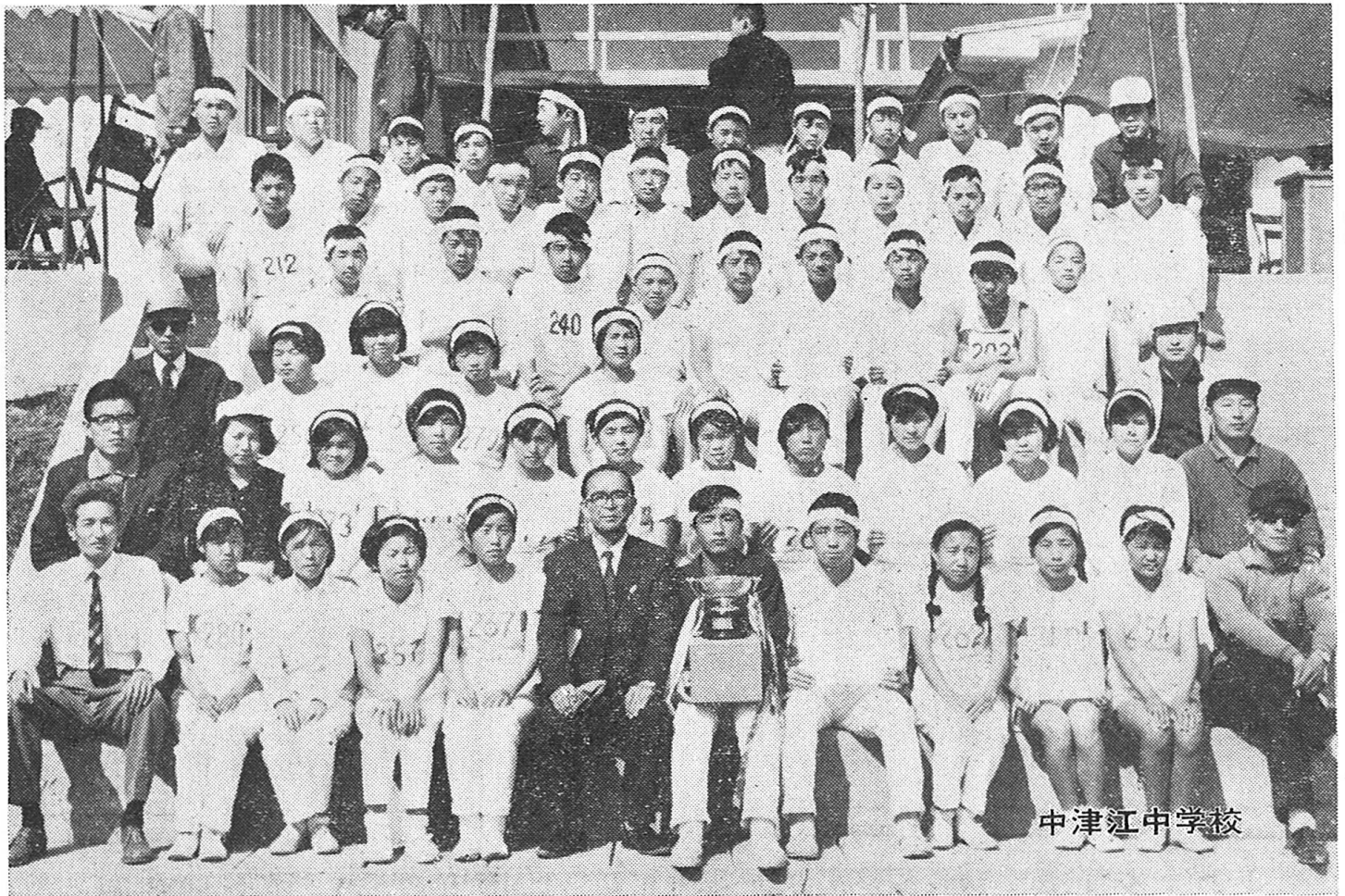


広報かづえ



中津江中学校

陸上大会で優勝

日田郡中体連陸上競技大会が五月三十日、大山中学校グラウンドでおこなわれ、中津江中学校が初優勝しました。大会には郡内七中学校全部が参加、大山中学校絶対優勢の予想に対し、中津江中、五馬中がよく奮闘して、優勝は最後の男子八百メートルリレー、女子四百メートルリレーにかかったが、中津江中はこれで二年男子、二年女子が共に一位をとり、優勝がきまりました。

日田郡中体連陸上競技大会に各種目で上位に入賞しました。男子百、二百メートルの二年の部で長谷部道雄君が二種目優勝したのをはじめ、女子百メートル二年の部で猪野利佳子さん、八百リレーで二年男子、四百リレーで二年女子が優勝、このほか二位に三名、三位に七名が入賞しました。

大会新六ツが出る

白熱した競技を反映して六ツの大会新が生まれました。中でも大山中の石田圭介君がすばらしく、百メートル十一秒七、二百メートル二十四秒三の高校生もおよばない記録を出しました

また同じ大山中の河津光子さんも二百メートルで二十八秒四の新記録を出しました。三段跳では上津江中の川村主将が宣誓

川村主将が宣誓

午前九時参加選手三百四十名が整列して開会式がおこなわれ、中津江中の主将川村哲彦君（三年生）が選手を代表して、堂々と選手宣誓をおこない、競技が開始されました。

同三年渡辺チヨさんが九、三八メートルを投げいずれも新記録を出し、大会を盛り上げました。

中津江中は優勝しただけ

人事案件などきまる

村議会 補正予算も議決

村は六月二十一日村議会を役場二階会室に招集し収入役再任、監査委員選任、第一回補正予算など議案十五件、報告一件を提案しました。議会は同日この全案件を審議しいずれも提案のとおり議決しました。

議員十一名が出席(一名 事案件が二件、予算案件が欠席)し、午前十時三十分 一件、村道認定、廃止等が矢原議長が開会を宣して審議がはじめられました。三件、その他が五件となっています。

今議会には議案十五、報告一件が提出されましたが

うち条例改正が五件、人開票管理者、立会人の報酬

の引き上げ、議員その他非常勤の職員の公務災害補償条例の一部改正、小口融資損失補償条例の一部改正、

村税条例の一部改正、職員

の特殊勤務手当支給条例の一部改正(保健婦の結核患者訪問手当の設置)がおこなわれました。

監査委員に武内氏を任命



武内 頼夫氏

村は六月二十一日の村議会で武内頼夫氏の監査委員任命の同意を得、六月二十三日任命しました。

張所勤務)が大分市へ転任のため、辞任されたので、その後任に任命されました

張所勤務)が大分市へ転任のため、辞任されたので、その後任に任命されました

武内氏は長く教職に勤め

武内氏は長く教職に勤め

谷光氏(大分銀行中津江出

谷光氏(大分銀行中津江出

谷光氏(大分銀行中津江出

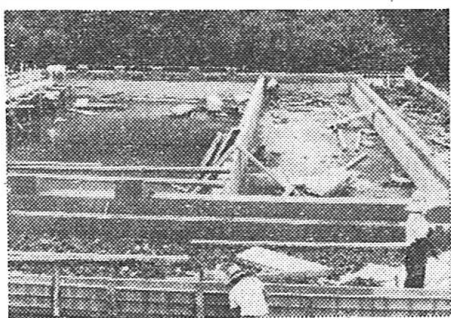
した。この主な内容は明治二十三年八千円、中津江中百年記念植林経費百九万円、農協横の土地購入費二十万円、県道改良負担金三百四十二万円、鯛生、野田の防火水そう新設、丸蔵、川辺への消防ポンプ格納庫建築費二百七十八万二千円、丸蔵小擁壁工事費二十五万六千円、小中学校備品費四十

川辺のプール着工 八月上旬に完成予定

川辺のプール着工

八月上旬に完成予定

川辺小、中学校のプール建設工事が六月二十八日から始められ、現在五五パーセントほど出来あがり、今夏の使用にまにあうよう、工事のピッチを上げています。敷地として栃原の合谷マキノさんから四百四十六平方メートルを寄付(他に六百六十一平方メートルを寄付)があり、工事は二串建設が請負っています。プールは中を小中学生別に仕切り、小学生用は深さ六十センチ、中学生



写真はプール建設工事

その他の案件

これは専決処分承認(四十二年国民健康保険決算が七十二万三千円の赤字となったため、四十三年度から財源補充したもの)田島参一郎氏との分収林設定契約、土地取得(川辺中学校、プール敷地として、合谷マキノさんの土地六百六十一平方メートルを五十五万円で購入)、土地の寄付(合谷マキノさんがプール敷地として四百六十六平方メートルを寄付)、繰越明許費の報告(林業構造事業の平線分の繰越)となっています。

審議にあたって村執行部から各議案の説明があり質議、討論の結果全議案を原案のとおり議決して午後三時散会しました。

十六ターヘルクに記念植林

明治百年事業として

村では明治百年を記念して柿の谷に一六、三ヘクタール（二六町三反）におよぶ植林をすることになりま

した。この植林は田島参一郎氏との分収林で田島氏の土地に村が植林し、その収益は村が七十パーセント、田島氏が三〇パーセントを収めることとなっています。

て、結婚五十年を迎えた夫婦の方々に「敬老の日」に記念品を贈ることになっています。写真は基本財産の村有林



血圧と尿の検査をします

血圧測定と尿の検査を部落ごとに八月から九月中旬にかけて行ないます。これは役場の保健婦が血圧測定器などを持って、部落を廻って検査することにしていますので、検査を受ける希望のある部落は、部落員の方が役場の衛生係に検査を受けたいと七月中に申込んで下さい。申込は電話でもハガキでも結構です。申込によって検査日程を立て

て、八月から部落を廻りま

参院選全国区の開票結果

七月七日におこなわれた参議院選挙の結果は、すでに新聞で報じられているとおりですが、こゝで新聞に報じられなかった本村の全国区の結果をみましょう。

山仕事などでマムシに合う時期になりました。役場では万一のときにそなえマムシの血精を置いてあります。もしマムシにかまれたらすぐお医者様に連絡して下さい。医師から役場に連絡がありすぐ血精を持って行くことになっています。

マムシの血精を役場に用意

得票の多かった順に五位までを見ると、一位安永英雄（社）三四七票、二位内田善利（公）二二四票、三位若林正武（自）一六六票、四位上田稔（自）一六三票、五位長田裕二（自）一四五票となっています。またいわゆるタレント候補の得票は、石原慎太郎三七票、青山幸男二二票、横山ノック一九票となっています。今東光も一二票ありました。

狩猟講習会が八月八九日に

狩猟者講習会が八月八、九日の午前十時から、日田市の日隈小学校講堂で開かれます。八日は経験者で四票、全国区で二二八票です。十年以降一回以上狩猟免許

(3)

今年日本脳炎の大流行が予想されています。本村では先きの予防注射のさい二、三六四人が注射をしましたが、まだ約二千人の方が注射を受けていません。

七、八月は脳炎の流行期です。毎年の例をみても梅雨あけと同時に大量の日本脳炎患者が発生しています。昨年県下では五十五名がかり、そのうち十九名が死亡しています。今年もすでに二人の患者が発生しています。日脳は体がだるい、

日本脳炎の予防

イレンも起きてきます。

重症の場合は意識障害が強く、発熱、頭痛が一週間から十日くらい続くといわれています。しかし発病後十日間持ちこたえれば、まず

い病気です。日脳には決

手となる薬や治療法がなく体力だけが唯一の頼みです。それだけに予防が大切になってきます。予防にはまず蚊（コガタアカイエカ）

にでもいる蚊ですが、夕方

と明け方に活動するといわれています。ドブや水たまりなどの清掃で蚊を絶滅するのも大切なことです。

遺族に叙勲の伝達

故 大賀保氏など十名

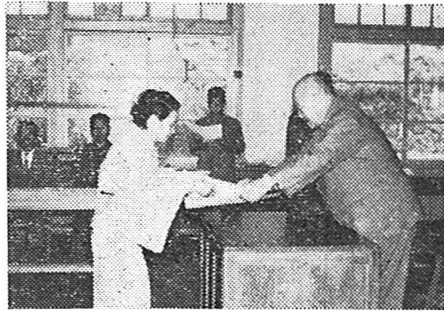
中津江村関係の戦没者叙 大賀 保(父市蔵)

勲伝達が役場会議室でおこなわれました。

今度は、昭和二十年八月十八日北千島において戦死した当時陸軍曹長の大賀保氏をはじめ十人の方の叙勲がおこなわれ、村長から勲賞と勲記が出席の父兄の方に渡されました。叙勲を受けた方は次の方々です。

勲七等青色桐草章

写真は勲記をうける遺族



勲八等白色桐草章

長谷部武利(母サト)、川上三男(父富吉)、山田勝美(母ジツ)、栗原三次(母トキヨ)、川村海造(母トクエ)、渡辺平八郎(兄親助)、石川利行(父初治)、佐藤荒喜(妻ヨシ子)永田一男(兄新久)

軍人加算恩給

の請求をすぐ

元軍人の加算恩給で扶助料(軍人の方がなくなつて遺族が請求できるもの)の請求期限が九月三十日で切れます。本村でもすでに四十名の

方がこの加算恩給を申請しています。この加算恩給は戦務加算、抑留加算の二種類で、戦務加算は、本土をはなれた月から終戦までの期間が倍に計算され、抑留加算は終戦から内地に上陸までの期間が加算されます。実役期間、戦務加算、抑留加算を合計して十二年以上になると恩給がつくわけです。

日赤募金目標を一万円突破

赤十字募金を五月以来お願いしていましたが、このほど目標の八万二千四百七十二円を一万六千八百八十九円九千三百八十円が集まりましたので、大分の日赤あて送金いたしました。今度の募金では部落ごとに目標額をお願いし各部落とも大変協力して下さいました。有難うございました。

特別に川辺下、八所、合鶴、木弓、中西、作草、すだれ、鯛生二班、焼野部落は目標額をオーバーする募金をいただき有難うございました。

青年団が宿泊講習会を予定

中津江村青年団は七月二十七日、八の両日、野田小学校で宿泊講習会を開きます。二十七日は午後三時から受け付けをはじめ、夜はキャンプファイヤー。二十八日は球技大会を行なうなど、レクリエーションを主体とした集りにすることにしています。講習会には上津江青年団も招いています。団では村内の青年の参加を待つています。

引揚者交付金の請求を早く

終戦後海外から引揚げた一般の方で、海外引揚者特別交付金を請求できる方は早目に請求して下さい。この交付金は、終戦の八月十五日現在日本内地外に一年以上居住していた方、及びその遺族の方が請求する権利があります。交付金は終戦日現在の年令によって額がきまっています。当時二十五才以上三十五才未満の方は五万円、三十五才以上五十才未満は十万円、それ以上の方は十六万円となっています。二十五才以下の方も勿論金額がきまっています。

児童に多く読まれている本の調査では「こぶとりじいさん」が一番多く以下マツチ売りの少女、アリババと四十人の盗賊、そんごくう、家なき子の順となっています。

発表会は参加の先生方に大変好評でしたが、学校では今後とも一層研究を深め、よりよい指導ができるよう努力して行きたいと思っています。

研究発表会開く川辺小学校

川辺小学校は国語教育研究の郡指定を受け昨年以來研究をつづけていきましたが七月九日「物語教材の読解指導について」と題して発表会をおこないました。発表会には日田教育事務所長、中、上津江教育長のほか日田市郡約百名の先生が集まりました。川辺小はこれの中で今月五日調査した。児童の国語学力検査、興味関心の結果を発表しました。

容では、みんなの前で話すことが最もきらわれ好きなことはいろんな本を読むことが一番多いという答えになっています。